社会・人間科学系　社会・人間科学コース　学修課程

社会・人間科学系　社会・人間科学コースは，「人文・社会・理工の知と方法をもって人間と社会と科学技術をつなぎ，価値形成と問題解決に邁進する国境なきリーダー」 “5T Leaders: Trans-disciplinary, Translational, Transformational, Transactional and Transnational Leaders” を育成する。

社会・人間科学系　社会・人間科学コースは，人文学・社会科学・理工学など知識・専門性の面でのバックグラウンドや，経歴・経験などの面でのバックグラウンドを問わず，学内外から多様な人材を受け入れる。また，本学の学修一貫教育の体制においては，学士課程で幅広い専門分野における理工学の基盤教育を受けた学生に対して人文学・社会科学・理工学の専門教育を提供し，文理融合と分野横断により幅広い分野で活躍することができる人材を輩出することを目的として，全系に広がっている広義の学修一貫としての役割を担う。

科学技術は，これまで，人間や社会に多大な進歩をもたらし，貢献してきた。一方，科学技術は，想定外のさまざまな問題を引き起こしてきた。科学技術による人間や社会のさらなる発展の実現と，科学技術が人間や社会に引き起こす問題の解決には，人間・社会・科学技術の理解に必要な人文学・社会科学・理工学についての広い知識と，政治・法律・行政，教育・福祉・健康，文化・芸術，科学技術社会，認知・数理・情報などの分野における高い専門性をもち，自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する価値形成力と必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する問題解決力を備えたリーダーが必要である。また，そのリーダーは，批判的な分析統合能力，互恵的な関係構築能力，多分野多文化間の対話発信能力を身につけ，多様性の理解と豊かな人間性，人間・社会・科学技術の間のブリッジ能力をもっていることが求められる。

社会・人間科学系　社会・人間科学コースの修士課程では，広い知識と高い専門性，分析統合能力・関係構築能力・対話発信力，多様性の理解，豊かな人間性，人間・社会・科学技術の間のブリッジ能力，価値形成力と問題解決力を駆使して，人間・社会・科学技術に関わる問題に取り組むリーダーを，また，そのようなリーダーの教育と福祉向上に貢献する人材を輩出する。博士後期課程では，人間・社会・科学技術に関連する諸学の密接な連携による専門学術研究の発展に貢献し，自らの専門性を人間・社会・科学技術が関わる価値形成と問題解決に活かす人材を輩出する。

【修士課程】

人材養成の目的

人間・社会・科学技術の理解に基づき，自らの知識・能力を社会に還元する社会的責任を自覚し，科学技術による人間や社会のさらなる発展の実現と新たな価値の形成，および，科学技術が人間や社会に引き起こす問題の解決に貢献できるリーダーを養成することを目的とする。

学修目標

本課程では，上記の目的の達成のために，次のような能力の修得を学修目標としている。

- 人文学・社会科学・理工学についての広い知識
- 人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性
- 批判的な分析統合能力・互恵的な関係構築能力・多分野多文化間の対話発信力
- 多様な知識構造，価値観，世界観の理解
- 高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性
- 洞察能力，省察能力，翻訳能力

・自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する価値形成力
・必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する問題解決力

学修内容

本課程では，「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために，次のような内容の学修を行う。

A）領域固有知識

人文学・社会科学・理工学についての広い知識，政治・法律・行政・社会，教育・福祉・健康，文化・芸術，科学技術社会，認知・数理・情報などの分野における高い専門性を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），各分野科目群（選択，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

B）汎用的技能

批判的な分析統合能力，互恵的な関係構築能力，多分野多文化間の対話発信能力を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），各分野科目群（選択，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

C）メタ認知

多様な知識構造，価値観，世界観の理解。共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

D）人間性

高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性の獲得。共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），および，教養科目群の科目による学修。

E）ブリッジ能力

洞察能力，省察能力，翻訳能力の学修。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

F）価値形成力，問題解決力

自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する「価値形成力」と必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する「問題解決力」を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修，研究関連科目），関係構築科目群（選択必修，研究関連科目），分析統合科目群（選択必修，専門科目），各分野科目群（選択，専門科目）の科目による学修。

修了要件

本コースの修士課程を修了するためには，次の要件を満たさなければならない。

１．　30 単位以上を大学院授業科目（400 及び 500 番台）から取得していること。

２．　本コースで指定された授業科目において，次の要件を満たすこと。

- コース標準課程の専門科目群から 20 単位以上修得していること。
- 講究科目（社会・人間科学講究 S1，F1，S2，F2）を各 1 単位，合計 4 単位修得していること。
- 研究関連科目の A 群（社会・人間科学プロジェクト S1，F1，S2，F2）から 2 単位以上修得していること。
- 研究関連科目の B 群（社会・人間科学多文化関係構築演習 S1，F1，S2，F2）から 2 単位以上修得していること。
- 専門科目の C 群（社会・人間科学多分野分析統合演習 S1A，S1B，F1A，F1B）から 4 単位以上修得していること。
- 文系教養科目のうち 400 番台を 2 単位以上，500 番台の科目 1 単位以上，キャリア科目から 2 単位以上を含み合計 5 単位以上修得していること。

３．　修士論文審査及び最終試験に合格すること

表Ｍ１に本コースにおける授業科目区分と修士課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと，また科目群ごとに指定され，「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては，科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表Ｍ１　社会・人間科学コース修士課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		・400 番台から 2 単位以上 ・500 番台から 1 単位以上	5 単位以上	A, B, C, D, E	
	キャリア科目		2 単位以上		A, B, C, D, E	後述の GA を原則として全て満たすこと。
	その他					
専門科目群	講究科目	社会・人間科学講究 S1, F1, S2, F2 を各 1 単位，合計 4 単位		コース標準学修課程の専門科目群から 20 単位以上	A, B, F	
	研究関連科目		・A 群（社会・人間科学プロジェクト S1, F1, S2, F2）から 2 単位以上		A, B, C, D, E, F	
			・B 群（社会・人間科学多文化関係構築演習 S1, F1, S2, F2）から 2 単位以上		B, C, D, E, F	
	専門科目		C 群（社会・人間科学多分野分析統合演習 S1A, S1B, F1A, F1B）から 4 単位以上		A, B, C, E, F	
	コース標準学修課程以外の専門科目又は研究関連科目					
修了単位合計		上記の条件を満たし，30 単位以上修得すること。				

【備考】

・文系教養科目，キャリア科目の詳細は，「IV. 教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
・外国人留学生が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合，対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表Ｍ２に本コースの修士課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については，本コースが指定する他コースの専門科目等を示し，修得した場合，「科目区分」欄に記載された，本コースの標準学修課程の「専門科目」,「研究関連科目」として取り扱われる。

表Ｍ２　社会・人間科学コース修士課程専門科目群

科目区分		科目コード	科目名			単位数	身に着ける力	学修内容	備考
講究科目	400番台	SHS.Z491.R	R ◎		社会・人間科学講究S1 (Colloquium in Social and Human Sciences S1)	0-1-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F	
		SHS.Z492.R	R ◎		社会・人間科学講究F1 (Colloquium in Social and Human Sciences F1)	0-1-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F	
	500番台	SHS.Z591.R	R ◎		社会・人間科学講究S2 (Colloquium in Social and Human Sciences S2)	0-1-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F	
		SHS.Z592.R	R ◎		社会・人間科学講究F2 (Colloquium in Social and Human Sciences F2)	0-1-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F	
研究関連科目	400番台	SHS.L431.B	B ○		社会・人間科学多文化関係構築演習S1 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S1)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L433.B	B ○		社会・人間科学多文化関係構築演習F1 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F1)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L451.A	A ○		社会・人間科学プロジェクトS1 (Translational Project in Social and Human Sciences S1)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F	
		SHS.L452.A	A ○		社会・人間科学プロジェクトF1 (Translational Project in Social and Human Sciences F1)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F	
	500番台	SHS.L531.B	B ○		社会・人間科学多文化関係構築演習S2 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S2)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L532.B	B ○		社会・人間科学多文化関係構築演習F2 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F2)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	

		SHS.L551.A	A ○		社会・人間科学プロジェクトS2 (Translational Project in Social and Human Sciences S2)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F	
		SHS.L552.A	A ○		社会・人間科学プロジェクトF2 (Translational Project in Social and Human Sciences F2)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F	
専門科目	400番台	SHS.L411.C	C ○		社会・人間科学多分野分析統合演習S1A (Trans-disciplinary Exercise in Social and Human Sciences S1A)	0-2-0	1,2,4,5	A,B,C,E,F	
		SHS.L412.C	C ○		社会・人間科学多分野分析統合演習S1B (Trans-disciplinary Exercise in Social and Human Sciences S1B)	0-2-0	1,2,4,5	A,B,C,E,F	
		SHS.L413.C	C ○		社会・人間科学多分野分析統合演習F1A (Trans-disciplinary Exercise in Social and Human Sciences F1A)	0-2-0	1,2,4,5	A,B,C,E,F	
		SHS.L414.C	C ○		社会・人間科学多分野分析統合演習F1B (Trans-disciplinary Exercise in Social and Human Sciences F1B)	0-2-0	1,2,4,5	A,B,C,E,F	
		SHS.D441.L	L 選択		教育・福祉・健康分野特論S1 (Graduate Lecture in Education, Welfare and Health S1)	1-0-0	3,4,5	A,B,F	
		SHS.D442.L	L 選択		教育・福祉・健康分野特論F1 (Graduate Lecture in Education, Welfare and Health F1)	1-0-0	3,4,5	A,B,F	
		SHS.D445.L	L 選択		教育工学特論 (Instructional-Design Theories and Models)	1-0-0	3	A,B,F	
		SHS.D447.L	L 選択		教育学特論 (Research on Teaching)	1-0-0	3	A,B,F	
		SHS.D461.L	L 選		教育・福祉・健康分野方法論S1 (Graduate Methodologies in	2-0-0	3	A,B,F	

			択		Education, Welfare and Health S1)				
		SHS.D462.L	L 選択		教育・福祉・健康分野方法論 F1 (Graduate Methodologies in Education, Welfare and Health F1)	2-0-0	3,4	A,B,F	
		SHS.D463.L	L 選択		教育システム研究 (Analyses and Modeling Techniques of Educational Data)	0-2-0	3,5	A,B,F	
		SHS.M441.L	L 選択	★	Graduate Lecture in Cognition, Mathematics and Information S1A (認知・数理・情報分野特論 S1A)	1-0-0	1,3	A,B,F	
		SHS.M442.L	L 選択	★ □	Graduate Lecture in Cognition, Mathematics and Information S1B (認知・数理・情報分野特論 S1B)	1-0-0	2,3	A,B,F	
		SHS.M443.L	L 選択		認知・数理・情報分野特論 F1A (Graduate Lecture in Cognition, Mathematics and Information F1A)	1-0-0	2,3,4,5	A,B,F	
		SHS.M444.L	L 選択		認知・数理・情報分野特論 F1B (Graduate Lecture in Cognition, Mathematics and Information F1B)	1-0-0	2,3,4,5	A,B,F	
		SHS.M445.L	L 選択		教育メディア工学 A (Educational Media and Design A)	1-0-0	2,3,5	A,B,F	
		SHS.M446.L	L 選択		教育メディア工学 B (Educational Media and Design B)	1-0-0	1,2,3,5	A,B,F	
		SHS.M447.L	L 選択		社会理工学特論 (Graduate Lecture on Decision Science and Technology)	2-0-0	3,4,5	A,B,F	清華大学との大学院合同プログラムの所属学生のみを対象
		SHS.M461.L	L 選択	★ □	Graduate Methodologies in Cognition, Mathematics and Information S1 (認知・数理・情報分野方法論 S1)	2-0-0	2,3,4,5	A,B,F	

		SHS.M462.L	L 選 択		認知・数理・情報分野方法論 F1 (Graduate Methodologies in Cognition, Mathematics and Information F1)	2-0-0	2,3,4, 5	A,B,F	
		SHS.M463.L	L 選 択		教育メディア工学演習 A (Practice of Educational Media and Design A)	0-1-0	3,5	A,B,F	
		SHS.M464.L	L 選 択		教育メディア工学演習 B (Practice of Educational Media and Design B)	0-1-0	3,5	A,B,F	
		SHS.P441.L	L 選 択	★	Graduate Lecture in Politics, Law and Administration S1A (政治・法律・行政分野特論 S1A)	1-0-0	1,2,3, 5	A,B,F	
		SHS.P442.L	L 選 択	□	政治・法律・行政分野特論 S1B (Graduate Lecture in Politics, Law and Administration S1B)	1-0-0	1,2,4, 5	A,B,F	
		SHS.P443.L	L 選 択		政治・法律・行政分野特論 F1A (Graduate Lecture in Politics, Law and Administration F1A)	1-0-0	1,3,4	A,B,F	
		SHS.P444.L	L 選 択		政治・法律・行政分野特論 F1B (Graduate Lecture in Politics, Law and Administration F1B)	1-0-0	1,2,3	A,B,F	
		SHS.P461.L	L 選 択		政治・法律・行政分野方法論 S1 (Graduate Methodologies in Politics, Law and Administration S1)	2-0-0	3,4,5	A,B,F	
		SHS.P462.L	L 選 択		政治・法律・行政分野方法論 F1 (Graduate Methodologies in Politics, Law and Administration F1)	2-0-0	2,4,5	A,B,F	
		SHS.S441.L	L 選 択	□	科学技術社会分野特論 S1A (Graduate Lecture in Science, Technology and Society S1A)	1-0-0	1,2,3, 4,5	A,B,F	
		SHS.S442.L	L 選 択	□	科学技術社会分野特論 S1B (Graduate Lecture in Science, Technology and Society S1B)	1-0-0	3	A,B,F	

		SHS.S443.L	L 選 択	□	科学技術社会分野特論 F1A (Graduate Lecture in Science, Technology and Society F1A)	1-0-0	3,4	A,B,F	
		SHS.S444.L	L 選 択	★	Graduate Lecture in Science, Technology and Society F1B (科学技術社会分野特論 F1B)	1-0-0	2,4,5	A,B,F	
		SHS.S445.L	L 選 択		科学技術と現代社会特論 (Graduate Lecture on Science, Technology and Modern Society)	2-0-0	3,4,5	A,B,F	清華大学との大学院合同プログラムの所属学生のみを対象
		SHS.S461.L	L 選 択		科学技術社会分野方法論 S1 (Graduate Methodologies in Science, Technology and Society S1)	2-0-0	3	A,B,F	
		SHS.S462.L	L 選 択		科学技術社会分野方法論 F1 (Graduate Methodologies in Science, Technology and Society F1)	2-0-0	2,3,4	A,B,F	
		SHS.U441.L	L 選 択	★ O	文化・芸術分野特論 S1A (Graduate Lecture in Culture and Arts S1A)	1-0-0	1,2,3,4,5	A,B,F	O 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
		SHS.U442.L	L 選 択	★ O	文化・芸術分野特論 S1B (Graduate Lecture in Culture and Arts S1B)	1-0-0	1,2,3,4,5	A,B,F	O 奇数年度：英語開講 E 偶数年度：日本語開講
		SHS.U443.L	L 選 択		文化・芸術分野特論 F1A (Graduate Lecture in Culture and Arts F1A)	1-0-0	1,3,4,5	A,B,F	
		SHS.U444.L	L 選 択		文化・芸術分野特論 F1B (Graduate Lecture in Culture and Arts F1B)	1-0-0	2,3,5	A,B,F	
		SHS.U461.L	L 選 択		文化・芸術分野方法論 S1 (Graduate Methodologies in Culture and Arts S1)	2-0-0	1,2,3	A,B,F	
		SHS.U462.L	L 選 択		文化・芸術分野方法論 F1 (Graduate Methodologies in Culture and Arts F1)	2-0-0	1,2,3	A,B,F	

・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，O：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目

・A：A 群の科目，B：B 群の科目，C：C 群の科目

・□：リーディング大学院「環境エネルギー協創教育院」プログラムに対応する科目を表す。

・身に着ける力：1，国際的教養力　2，コミュニケーション力　3，専門力　4，課題設定力　5，実践力又は解決力

・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D400.R の「D」の項目）

P：政治・法律・行政分野，D：教育・福祉・健康分野，U：文化・芸術分野，S：科学技術社会分野，M：認知・数理・情報分野，Z：講究科目

本コースの修士課程修了要件に記されるキャリア科目については，「IV.教養科目群履修案内－キャリア科目」の表 MA-1 に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし，２単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については，修了時にコースで判定する。複数の GA が対応する科目については，当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために，キャリア科目に加えて，キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目として，表Ｍ３の科目が用意されている。

なお，対応科目をキャリア科目として修了要件に含めた場合，専門科目として修了要件に含めることが出来ないので留意すること。

【参考】キャリア科目の履修案内より

表 MA-1 修士課程学生に求められる Graduate Attributes とは，次のとおりです。

C0M：自らのキャリアプランを明確に描き，その実現に必要な能力を，社会との関係を含めて認識できる

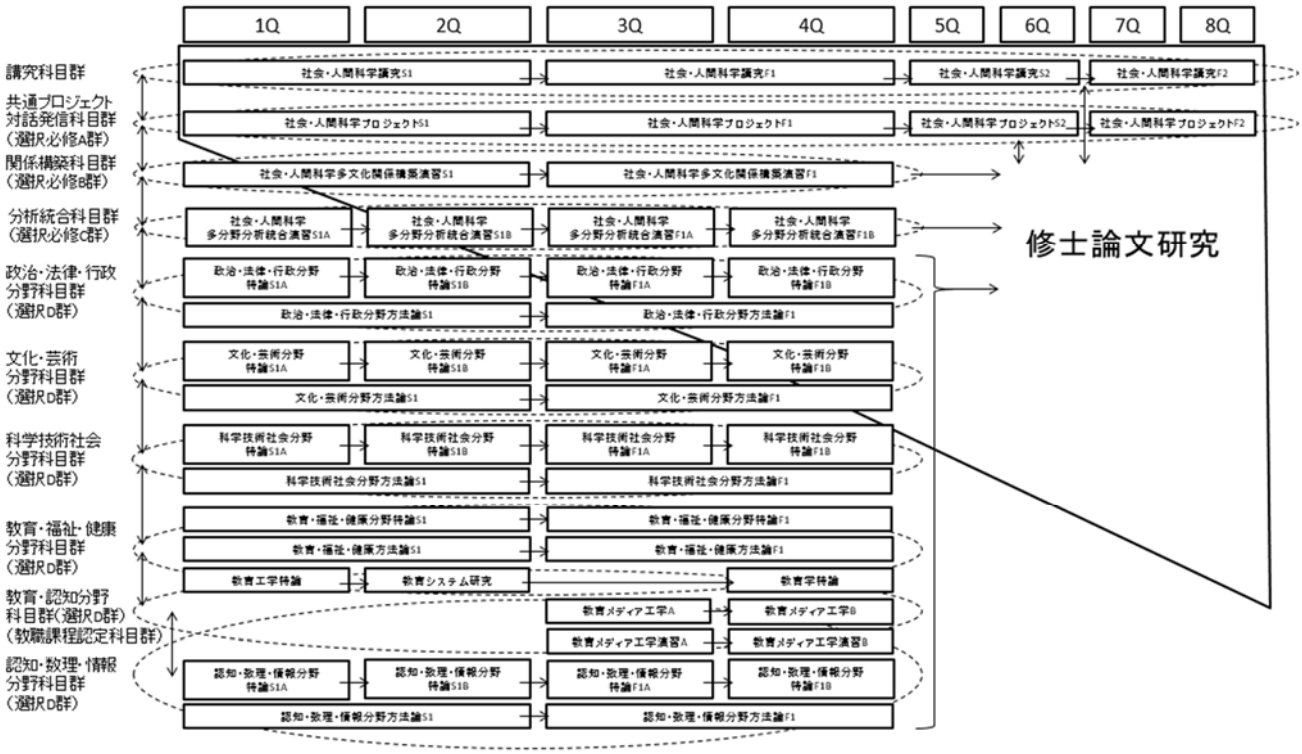
C1M：自身の専門能力を学術・科学技術の発展に活用し，専門能力が異なる他者と共同して課題解決に貢献できる

表Ｍ３　社会・人間科学コース修士課程キャリア対応科目

対応科目区分	科目コード	科目名			単位数	対応する GA	学修内容	備考
キャリア科目としてみなすことができる専門科目	SHS.L431.B			社会・人間科学多文化関係構築演習 S1 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S1)	0-1-0	C1M	B,C,D,E,F	
	SHS.L433.B			社会・人間科学多文化関係構築演習 F1 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F1)	0-1-0	C1M	B,C,D,E,F	
	SHS.L531.B			社会・人間科学多文化関係構築演習 S2 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S2)	0-1-0	C1M	B,C,D,E,F	
	SHS.L532.B			社会・人間科学多文化関係構築演習 F2 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F2)	0-1-0	C1M	B,C,D,E,F	
	SHS.L451.A			社会・人間科学プロジェクト S1 (Translational Project in Social and Human Sciences S1)	0-0-1	COM, C1M	A,B,C,D,E,F	
	SHS.L452.A			社会・人間科学プロジェクト F1	0-0-1	COM, C1M	A,B,C,D,E,F	

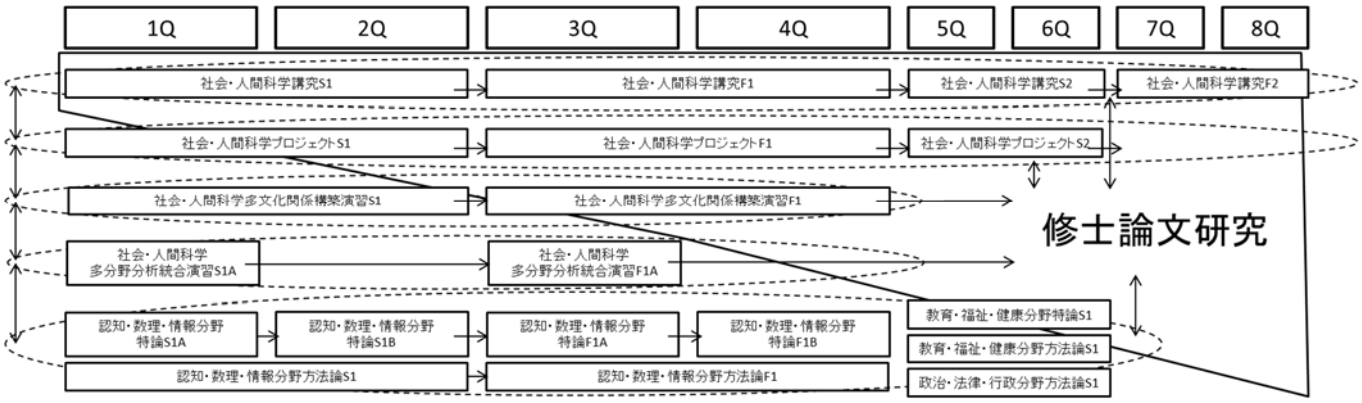
				(Translational Project in Social and Human Sciences F1)				
	SHS.L551.A			社会・人間科学プロジェクト S2 (Translational Project in Social and Human Sciences S2)	0-0-1	COM, C1M	A,B,C,D,E,F	
	SHS.L552.A			社会・人間科学プロジェクト F2 (Translational Project in Social and Human Sciences F2)	0-0-1	COM, C1M	A,B,C,D,E,F	
上記科目の他，教養科目群キャリア科目から選択すること。（「IV.教養科目群履修案内」参照）								

科目体系図

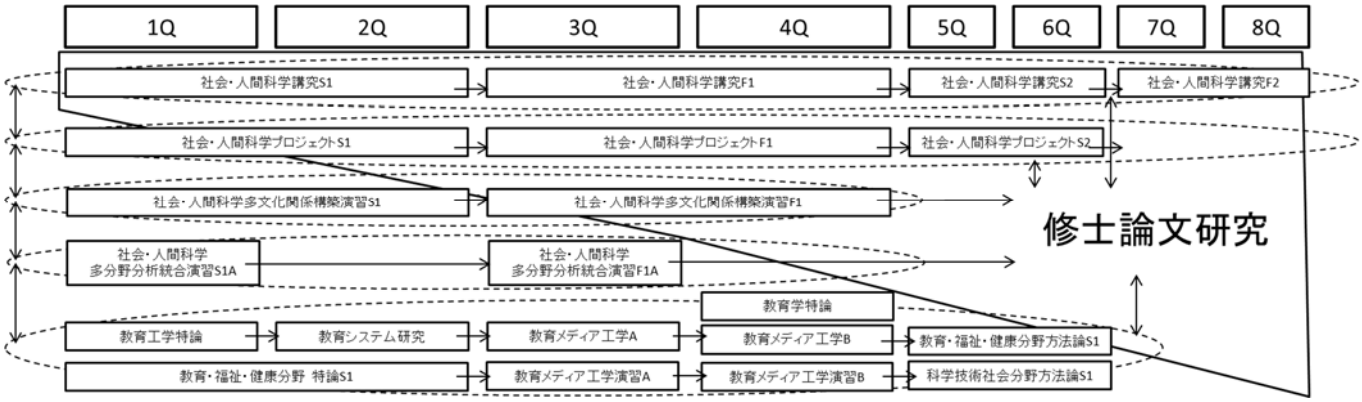

1Q
2Q
3Q
4Q
5Q
6Q
7Q
8Q
講究科目群
共通プロジェクト対話発信科目群（選択必修A群）
関係構築科目群（選択必修B群）
分析統合科目群（選択必修C群）
政治・法律・行政分野科目群（選択D群）
文化・芸術分野科目群（選択D群）
科学技術社会分野科目群（選択D群）
教育・福祉・健康分野科目群（選択D群）
教育・認知分野科目群（選択D群）（教職課程認定科目群）
認知・数理・情報分野科目群（選択D群）
社会・人間科学講究S1
社会・人間科学講究F1
社会・人間科学講究S2
社会・人間科学講究F2
社会・人間科学プロジェクトS1
社会・人間科学プロジェクトF1
社会・人間科学プロジェクトS2
社会・人間科学プロジェクトF2
社会・人間科学多文化関係構築演習S1
社会・人間科学多文化関係構築演習F1
社会・人間科学多分野分析統合演習S1A
社会・人間科学多分野分析統合演習S1B
社会・人間科学多分野分析統合演習F1A
社会・人間科学多分野分析統合演習F1B
修士論文研究
政治・法律・行政分野特論S1A
政治・法律・行政分野特論S1B
政治・法律・行政分野特論F1A
政治・法律・行政分野特論F1B
政治・法律・行政分野方法論S1
政治・法律・行政分野方法論F1
文化・芸術分野特論S1A
文化・芸術分野特論S1B
文化・芸術分野特論F1A
文化・芸術分野特論F1B
文化・芸術分野方法論S1
文化・芸術分野方法論F1
科学技術社会分野特論S1A
科学技術社会分野特論S1B
科学技術社会分野特論F1A
科学技術社会分野特論F1B
科学技術社会分野方法論S1
科学技術社会分野方法論F1
教育・福祉・健康分野特論S1
教育・福祉・健康分野特論F1
教育・福祉・健康方法論S1
教育・福祉・健康方法論F1
教育工学特論
教育システム研究
教育学特論
教育メディア工学A
教育メディア工学B
教育メディア工学演習A
教育メディア工学演習B
認知・数理・情報分野特論S1A
認知・数理・情報分野特論S1B
認知・数理・情報分野特論F1A
認知・数理・情報分野特論F1B
認知・数理・情報分野方法論S1
認知・数理・情報分野方法論F1

標準的履修例

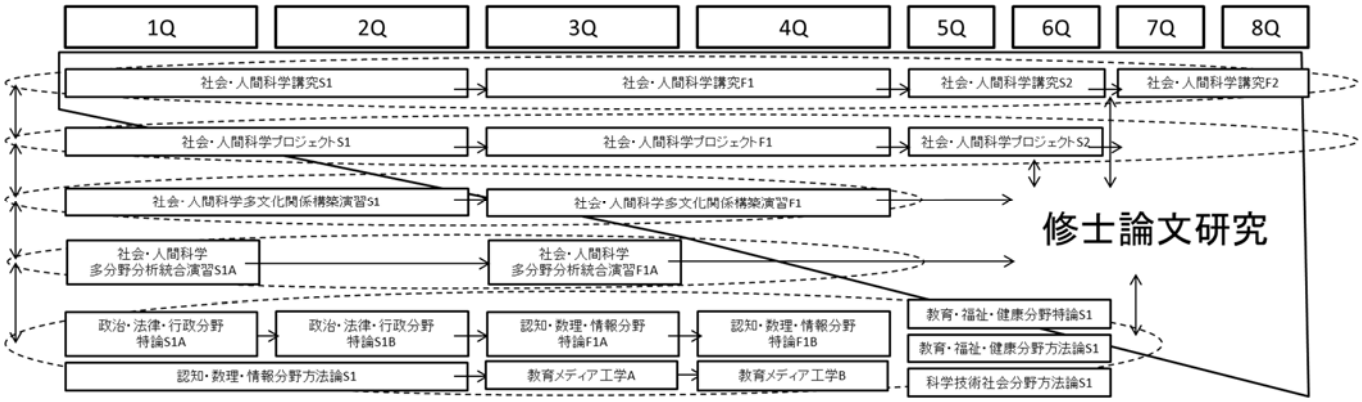
（例 1）認知・数理・情報分野の履修例。



（例 2）教育・福祉・健康分野の履修例。

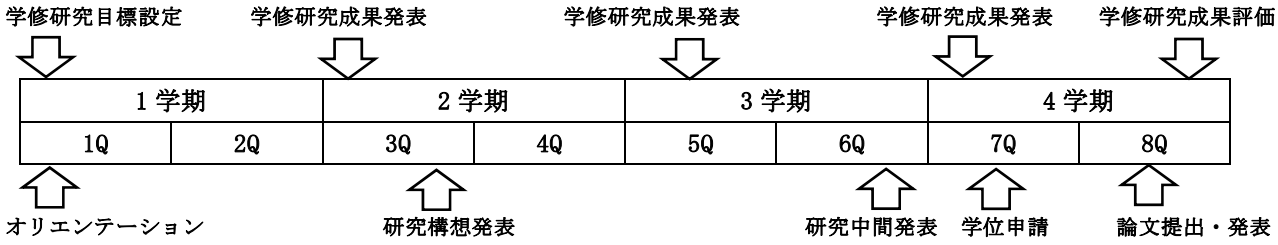


（例 3）政治・法律・行政分野の履修例。



修士論文研究

修士論文研究では，一連の研究プロセスを体験し，問題設定能力，問題解決力やコミュニケーション力の向上を目指す。修士論文研究の流れを次の図で示す。



・学修研究目標設定・オリエンテーション

入学時に，学修研究目標設定と目標達成のためのオリエンテーションを行う。

・学修研究成果発表・学修研究成果評価

学修研究目標の達成度や目標達成のための課題を明確に意識できるよう，3Q，5Q，7Q に，スライドやポスターを用いた口頭発表により，学修研究成果発表を行う。また，8Q に学修研究成果評価を行う。

・研究構想発表・研究中間発表

研究の背景，目的，進捗等を明確に意識できるよう，3Q に「研究構想発表」を，6Q に「研究中間発表」を行う。発表要旨を提出し，スライドやポスターを用いた口頭発表を行う。研究構想発表の後，講究科目から 2 単位以上，研究関連科目の A 群から 2 単位以上，研究関連科目の B 群から 1 単位以上，専門科目の C 群から 2 単位以上を修得すれば，600 番台専門科目の学修が可能となる。ただし，修士課程修了の要件として含むことができないので留意すること。

・学位申請・論文提出・論文発表

学修研究目標設定，オリエンテーション，学修研究成果発表，研究構想発表・研究中間発表等を経て，学位申請を行い，その後，論文提出，論文発表にいたる。論文発表ではスライドを用いた口頭発表を行う。

・修士論文審査基準

（内容）

新規性または独創性があり当該分野への新しい知見をもたらす内容を含むか，または研究の遂行に必要な基礎知識・理解力・問題設定能力，問題解決力等を証明する内容を含むこと。

（論文）

修士論文は，研究の経過報告でなく，得られた成果を体系的にまとめられた自著のものであり，以下が含まれる必要がある。

- 論文概要
- 研究の背景
- 研究の目的
- 本論文の構成と本論文の概要
- 各章の内容
- 新たに得られた研究成果
- 結論と残された課題
- 本論文に関する発表【（任意）論文，学会発表等を行った場合は論文の構成と関係付けて記述する。コース内で行われる研究構想発表・研究中間発表を除く。】
- 参考文献

なお，英文で書かれた論文概要を付すこととする。

・修士論文審査実施方法

審査委員会は 3 名以上の審査員で構成される。審査員による事前査読の後，口頭発表を行って最終的な審査と評価を行う。博士後期課程に進学する者の審査は 5 名の審査員で行う。

修博一貫（修士課程・博士後期課程一貫）の教育体系

社会・人間科学コースでは，修士課程で修得した，人文学・社会科学・理工学についての広い知識，人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性（領域固有知識），批判的な分析統合能力・互恵的な関係構築能力・多分野多文化間の対話発信力（汎用的技能），多様な知識構造，価値観，世界観の理解（メタ認知），高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性（人間性），洞察能力，省察能力，翻訳能力（ブリッジ能力），および，自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明し，必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する力（価値形成力と問題解決力）をさらに高い水準で修得し，加えて，人間・社会・科学技術に関連する諸学の密接な連携による専門学術研究の発展に貢献する力（専門学術研究力）と，自らの専門性を人間・社会・科学技術が関わる価値形成と問題解決に活かす力（専門性の価値形成と問題解決への活用力）を修得することで，科学技術による人間や社会のさらなる発展の実現と新たな価値の形成，科学技術が人間や社会に引き起こす問題の解決において，世界を牽引できるリーダーを養成することを目的とし，次のような能力の修得を博士後期課程の学修目標としています。

- 人文学・社会科学・理工学についての広い知識
- 人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性
- 批判的な分析統合能力・互恵的な関係構築能力・多分野多文化間の対話発信力
- 多様な知識構造，価値観，世界観の理解
- 高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性
- 洞察能力，省察能力，翻訳能力
- 自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する価値形成力
- 必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する問題解決力
- 諸学の密接な連携による専門学術研究力
- 自らの専門性の価値形成と問題解決への活用力

博士後期課程におけるカリキュラムには，修士課程から継続して学修が可能な 600 番台科目として，講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），関係構築科目群（選択，研究関連科目），および，各分野科目群（選択，専門科目）が開設されています。また，支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目）により，博士後期課程と修士課程の間の有機的な連携が組み込まれたカリキュラムとなっています。

【博士後期課程】

人材養成の目的

人間・社会・科学技術に関連する諸学の密接な連携による専門学術研究に基づき，科学技術による人間や社会のさらなる発展の実現と新たな価値の形成，科学技術が人間や社会に引き起こす問題の解決において，世界を牽引できるリーダーを養成することを目的とする。

学修目標

本課程では，上記の目的の達成のために，次のような能力の修得を学修目標としている。

- ・人文学・社会科学・理工学についての広い知識
- ・人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性
- ・批判的な分析統合能力・互恵的な関係構築能力・多分野多文化間の対話発信力
- ・多様な知識構造，価値観，世界観の理解
- ・高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性
- ・洞察能力，省察能力，翻訳能力
- ・自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する価値形成力
- ・必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する問題解決力
- ・諸学の密接な連携による専門学術研究力
- ・自らの専門性の価値形成と問題解決への活用力

学修内容

本課程では，「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために，次のような内容の学修を行う。

A）領域固有知識

人文学・社会科学・理工学についての広い知識，政治・法律・行政・社会，教育・福祉・健康，文化・芸術，科学技術社会，認知・数理・情報などの分野における高い専門性を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），各分野科目群（選択，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

B）汎用的技能

批判的な分析統合能力，互恵的な関係構築能力，多分野多文化間の対話発信能力を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），関係構築科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），各分野科目群（選択，専門科目），および，教養科目群の科目による学修。

C）メタ認知

多様な知識構造，価値観，世界観の理解。共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），関係構築科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），および，教養科目群の科目による学修。

D）人間性

高い倫理観，感受性，柔軟性，当事者性，社会性，責任感，積極性の獲得。共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），関係構築科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），および，教養科目群の科目による学修。

E）ブリッジ能力

洞察能力，省察能力，翻訳能力の学修。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），関係構築科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），および，教養科目群の科目による学修。

F）価値形成力，問題解決力

自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する「価値形成力」と必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する「問題解決力」を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），関係構築科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），各分野科目群（選択，専門科目）の科目による学修。

G）専門学術研究力

人間・社会・科学技術に関連する諸学の密接な連携による専門学術研究の発展に貢献する力を修得。講究科目群（必修，専門科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），各分野科目群（選択，専門科目）の科目による学修。

H）専門性の価値形成と問題解決への活用力

自らの専門性を人間・社会・科学技術が関わる価値形成と問題解決に活かす力を修得。講究科目群（必修，専門科目），共通プロジェクト対話発信科目群（選択，研究関連科目），支援実習キャリア科目群（選択，研究関連科目），各分野科目群（選択，専門科目）の科目による学修。

修了要件

本コースの博士後期課程を修了するためには，次の要件を満たさなければならない。

1．24 単位以上を大学院授業科目（600 番台）から取得していること

2．本コースで指定された授業科目において，次の要件を満たすこと

- コース標準課程の専門科目群から 14 単位以上修得していること。
- 講究科目（社会・人間科学講究 S3, F3, S4, F4, S5, F5）を 12 単位修得していること。
- 文系教養科目のうち 600 番台を 2 単位以上，キャリア科目から 4 単位以上を含み合計 6 単位以上修得していること。

3．博士論文審査及び最終試験に合格すること

表D1 に本コースにおける授業科目区分と博士後期課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと，また科目群ごとに指定され，「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては，科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表D1　社会・人間科学コース博士後期課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		2 単位以上	6 単位以上	A, B, C, D, E	
	キャリア科目		4 単位以上		A, B, C, D, E	後述の GA を原則として全て満たすこと。
	その他					
専門科目群	講究科目	社会・人間科学講究 S3, F3, S4, F4, S5, F5 を各 2 単位，合計 12 単位		コース標準学修課程の専門科目群から 14 単位以上	A, B, F	
	研究関連科目					
	専門科目					
	コース標準学修課程以外の専門科目又は研究関連科目					
修了単位合計		上記の条件を満たし，24 単位以上修得すること。				

【備考】

・文系教養科目，キャリア科目の詳細は，「IV.教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
・外国人留学生が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合，対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表Ｄ２に本コースの博士後期課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については，本コースが指定する他コースの専門科目等を示し，修得した場合，「科目区分」欄に記載された，本コースの標準学修課程の「専門科目」,「研究関連科目」として取り扱われる。

表Ｄ２　社会・人間科学コース博士後期課程専門科目群

科目区分		科目コード	科目名			単位数	身に着ける力	学修内容	備考
講究科目	600番台	SHS.Z691.R	R ◎		社会・人間科学講究S3 (Colloquium in Social and Human Sciences S3)	0-2-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F,G,H	
		SHS.Z692.R	R ◎		社会・人間科学講究F3 (Colloquium in Social and Human Sciences F3)	0-2-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F,G,H	
		SHS.Z693.R	R ◎		社会・人間科学講究S4 (Colloquium in Social and Human Sciences S4)	0-2-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F,G,H	
		SHS.Z694.R	R ◎		社会・人間科学講究F4 (Colloquium in Social and Human Sciences F4)	0-2-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F,G,H	
		SHS.Z695.R	R ◎		社会・人間科学講究S5 (Colloquium in Social and Human Sciences S5)	0-2-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F,G,H	
		SHS.Z696.R	R ◎		社会・人間科学講究F5 (Colloquium in Social and Human Sciences F5)	0-2-0	1,2,3,4,5	A,B,E,F,G,H	
研究関連科目	600番台	SHS.L631.L	L 選択		社会・人間科学多文化関係構築演習S3 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S3)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L632.L	L 選択		社会・人間科学多文化関係構築演習S4 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S4)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L633.L	L 選択		社会・人間科学多文化関係構築演習F3 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F3)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L634.L	L 選択		社会・人間科学多文化関係構築演習F4 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F4)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L635.L	L 選択		社会・人間科学多文化関係構築演習S5 (Transnational Workshop in	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	

					Social and Human Sciences S5)				
		SHS.L636.L	L 選択		社会・人間科学多文化関係構築演習 F5 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F5)	0-1-0	1,2,5	B,C,D,E,F	
		SHS.L651.L	L 選択		社会・人間科学プロジェクト S3 (Translational Project in Social and Human Sciences S3)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,H	
		SHS.L652.L	L 選択		社会・人間科学プロジェクト F3 (Translational Project in Social and Human Sciences F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,H	
		SHS.L653.L	L 選択		社会・人間科学プロジェクト S4 (Translational Project in Social and Human Sciences S4)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,H	
		SHS.L654.L	L 選択		社会・人間科学プロジェクト F4 (Translational Project in Social and Human Sciences F4)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,H	
		SHS.L655.L	L 選択		社会・人間科学プロジェクト S5 (Translational Project in Social and Human Sciences S5)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,H	
		SHS.L656.L	L 選択		社会・人間科学プロジェクト F5 (Translational Project in Social and Human Sciences F5)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,H	
		SHS.L671.L	L 選択		社会・人間科学演習プロジェクト支援実践 S3 (Course Assistance in Social and Human Sciences S3)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,G,H	
		SHS.L672.L	L 選択		社会・人間科学演習プロジェクト支援実践 S4 (Course Assistance in Social and Human Sciences S4)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,G,H	
		SHS.L673.L	L 選択		社会・人間科学演習プロジェクト支援実践 F3 (Course Assistance in Social and Human Sciences F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,C,D,E,F,G,H	

		SHS.L674.L	L 選 択		社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F4 (Course Assistance in Social and Human Sciences F4)	0-0-1	2,4,5	A,B,C, D,E,F, G,H	
		SHS.L675.L	L 選 択		社会・人間科学演習プロジェクト支援実践S5 (Course Assistance in Social and Human Sciences S5)	0-0-1	2,4,5	A,B,C, D,E,F, G,H	
		SHS.L676.L	L 選 択		社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F5 (Course Assistance in Social and Human Sciences F5)	0-0-1	2,4,5	A,B,C, D,E,F, G,H	
		SHS.D681.L	L 選 択		教育・福祉・健康分野プロジェクトS3 (Graduate Project in Education, Welfare and Health S3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.D682.L	L 選 択		教育・福祉・健康分野プロジェクトF3 (Graduate Project in Education, Welfare and Health F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.M681.L	L 選 択		認知・数理・情報分野プロジェクトS3 (Graduate Project in Cognition, Mathematics and Information S3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.M682.L	L 選 択		認知・数理・情報分野プロジェクトF3 (Graduate Project in Cognition, Mathematics and Information F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.P681.L	L 選 択		政治・法律・行政分野プロジェクトS3 (Graduate Project in Politics, Law and Administration S3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.P682.L	L 選 択		政治・法律・行政分野プロジェクトF3 (Graduate Project in Politics, Law and Administration F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.S681.L	L 選		科学技術社会分野プロジェクトS3	0-0-1	2,3,4, 5	A,B,F, G,H	

			択		(Graduate Project in Science, Technology and Society S3)				
		SHS.S682.L	L 選 択		科学技術社会分野プロジェクト F3 (Graduate Project in Science, Technology and Society F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.U681.L	L 選 択		文化・芸術分野プロジェクト S3 (Graduate Project in Culture and Arts S3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	
		SHS.U682.L	L 選 択		文化・芸術分野プロジェクト F3 (Graduate Project in Culture and Arts F3)	0-0-1	2,4,5	A,B,F, G,H	

・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，O：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目
・身に着ける力：1，国際的教養力　2，コミュニケーション力　3，専門力　4，課題設定力　5，実践力又は解決力
・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D600.R の「D」の項目）
P：政治・法律・行政分野，D：教育・福祉・健康分野，U：文化・芸術分野，S：科学技術社会分野，M：認知・数理・情報分野，Z：講究科目

本コースの博士後期課程修了要件に記されるキャリア科目については，「IV.教養科目群履修案内－キャリア科目」の表 A-1 または A-2 に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし，4 単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については，修了時にコースで判定する。複数の GA が対応する科目については，当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために，キャリア科目に加えて，キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目として，表 B-1 または B-2 の科目が用意されている。

なお，対応科目をキャリア科目として修了要件に含めた場合，専門科目として修了要件に含めることが出来ないので留意すること。

【参考】キャリア科目の履修案内より
博士後期課程

表 A-1 アカデミックリーダー教育院（ALP）所属学生に求められる Graduate Attributes とは，次のとおりです。

A0D：自らのキャリアプランを明確に描き，アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる
A1D：現象の本質を見極め，学問の奥義を究めて，新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる
A2D：社会における学術の位置づけを理解し，ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる
A3D：教育機関等において，学術に興味を持たせ，新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる

表 A-2 プロダクティブリーダー教育院（PLP）所属学生に求められる Graduate Attributes とは，次のとおりです。

P0D：自らのキャリアプランを明確に描き，産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる
P1D：社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し，将来の科学技術の発展をリードできる
P2D：異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて，社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる

P3D：プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる

表 B-1　アカデミックリーダー教育院（ALP）社会・人間科学コース博士後期課程キャリア科目対応科目

対応科目区分	科目コード	科目名			単位数	対応する GA	学修内容	備考
キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目	SHS.L631.L			社会・人間科学多文化関係構築演習 S3 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S3)	0-1-0	A2D, A3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L632.L			社会・人間科学多文化関係構築演習 S4 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S4)	0-1-0	A2D, A3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L633.L			社会・人間科学多文化関係構築演習 F3 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F3)	0-1-0	A2D, A3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L634.L			社会・人間科学多文化関係構築演習 F4 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F4)	0-1-0	A2D, A3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L635.L			社会・人間科学多文化関係構築演習 S5 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S5)	0-1-0	A2D, A3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L636.L			社会・人間科学多文化関係構築演習 F5 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F5)	0-1-0	A2D, A3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L651.L			社会・人間科学プロジェクト S3 (Translational Project in Social and Human Sciences S3)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L652.L			社会・人間科学プロジェクト F3 (Translational Project in Social and Human Sciences F3)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L653.L			社会・人間科学プロジェクト S4 (Translational Project in Social and Human Sciences S4)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L654.L			社会・人間科学プロジェクト F4 (Translational Project in Social and Human Sciences F4)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L655.L			社会・人間科学プロジェクト S5 (Translational Project in Social and Human Sciences S5)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	A,B,C,D,E,F,H	

	SHS.L656.L			社会・人間科学プロジェクトF5 (Translational Project in Social and Human Sciences F5)	0-0-1	A0D, A1D, A2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L671.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践S3 (Course Assistance in Social and Human Sciences S3)	0-0-1	A2D, A3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L672.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践S4 (Course Assistance in Social and Human Sciences S4)	0-0-1	A2D, A3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L673.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F3 (Course Assistance in Social and Human Sciences F3)	0-0-1	A2D, A3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L674.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F4 (Course Assistance in Social and Human Sciences F4)	0-0-1	A2D, A3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L675.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践S5 (Course Assistance in Social and Human Sciences S5)	0-0-1	A2D, A3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L676.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F5 (Course Assistance in Social and Human Sciences F5)	0-0-1	A2D, A3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
上記科目の他，教養科目群キャリア科目から選択すること。（「IV.教養科目群履修案内」参照）								

表 B-2　プロダクティブリーダー教育院（PLP）社会・人間科学コース博士後期課程キャリア科目対応科目

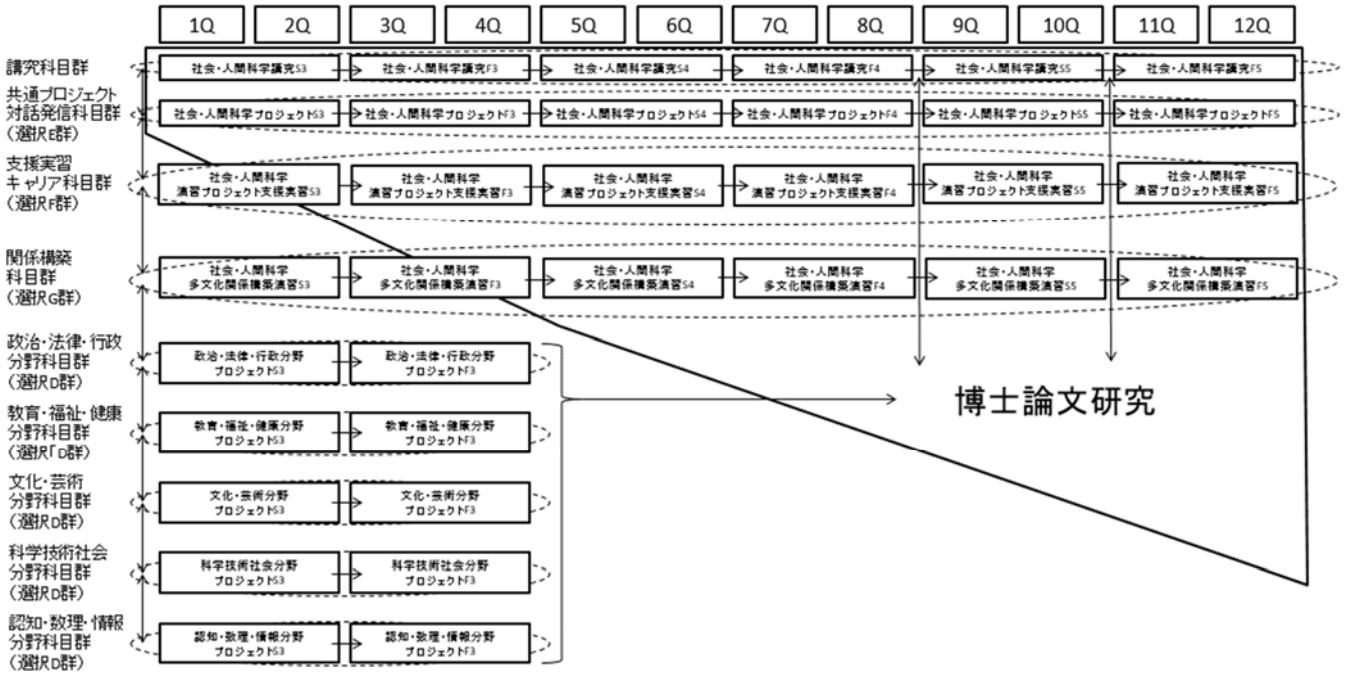
対応科目区分	科目コード	科目名			単位数	対応する GA	学修内容	備考
キャリア科目としてみなすことが出来る専門科目	SHS.L631.L			社会・人間科学多文化関係構築演習S3 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S3)	0-1-0	P2D, P3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L632.L			社会・人間科学多文化関係構築演習S4 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S4)	0-1-0	P2D, P3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L633.L			社会・人間科学多文化関係構築演習F3 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F3)	0-1-0	P2D, P3D	B,C,D,E,F	

	SHS.L634.L			社会・人間科学多文化関係構築演習F4 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F4)	0-1-0	P2D, P3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L635.L			社会・人間科学多文化関係構築演習S5 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences S5)	0-1-0	P2D, P3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L636.L			社会・人間科学多文化関係構築演習F5 (Transnational Workshop in Social and Human Sciences F5)	0-1-0	P2D, P3D	B,C,D,E,F	
	SHS.L651.L			社会・人間科学プロジェクトS3 (Translational Project in Social and Human Sciences S3)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L652.L			社会・人間科学プロジェクトF3 (Translational Project in Social and Human Sciences F3)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L653.L			社会・人間科学プロジェクトS4 (Translational Project in Social and Human Sciences S4)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L654.L			社会・人間科学プロジェクトF4 (Translational Project in Social and Human Sciences F4)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L655.L			社会・人間科学プロジェクトS5 (Translational Project in Social and Human Sciences S5)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L656.L			社会・人間科学プロジェクトF5 (Translational Project in Social and Human Sciences F5)	0-0-1	P0D, P1D, P2D	A,B,C,D,E,F,H	
	SHS.L671.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践S3 (Course Assistance in Social and Human Sciences S3)	0-0-1	P2D, P3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L672.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践S4 (Course Assistance in Social and Human Sciences S4)	0-0-1	P2D, P3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L673.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F3 (Course Assistance in Social and Human Sciences F3)	0-0-1	P2D, P3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L674.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践F4	0-0-1	P2D, P3D	A,B,C,D,E,F,G,H	

				(Course Assistance in Social and Human Sciences F4)				
	SHS.L675.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践 S5 (Course Assistance in Social and Human Sciences S5)	0-0-1	P2D, P3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
	SHS.L676.L			社会・人間科学演習プロジェクト支援実践 F5 (Course Assistance in Social and Human Sciences F5)	0-0-1	P2D, P3D	A,B,C,D,E,F,G,H	
上記科目の他，教養科目群キャリア科目から選択すること。（「IV.教養科目群履修案内」参照）								

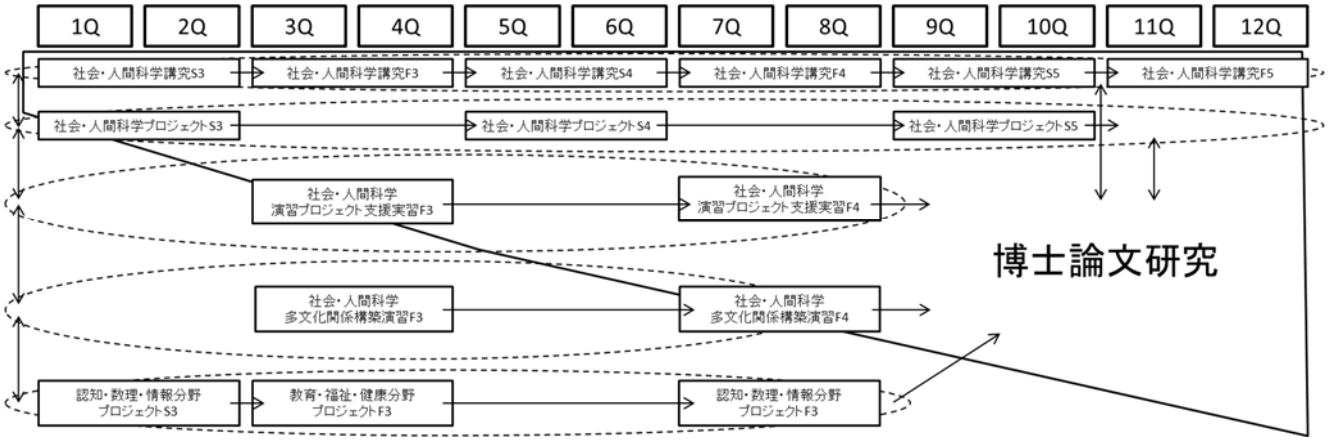
なお，リーディング大学院教育課程またはリーダーシップ教育課程を履修する者については，「IV. 教養科目群履修案内－キャリア科目」に記載されている以外にキャリア科目とみなすことができる科目が用意されている場合がある。具体的な科目，履修要件等は，該当する教育課程の履修案内を参照のこと。

科目体系図

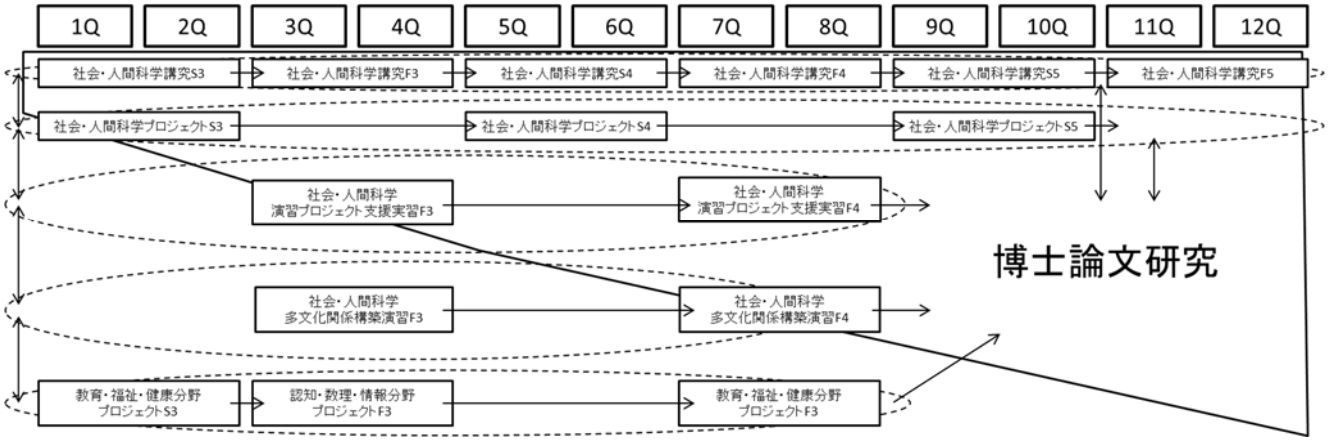


標準的履修例

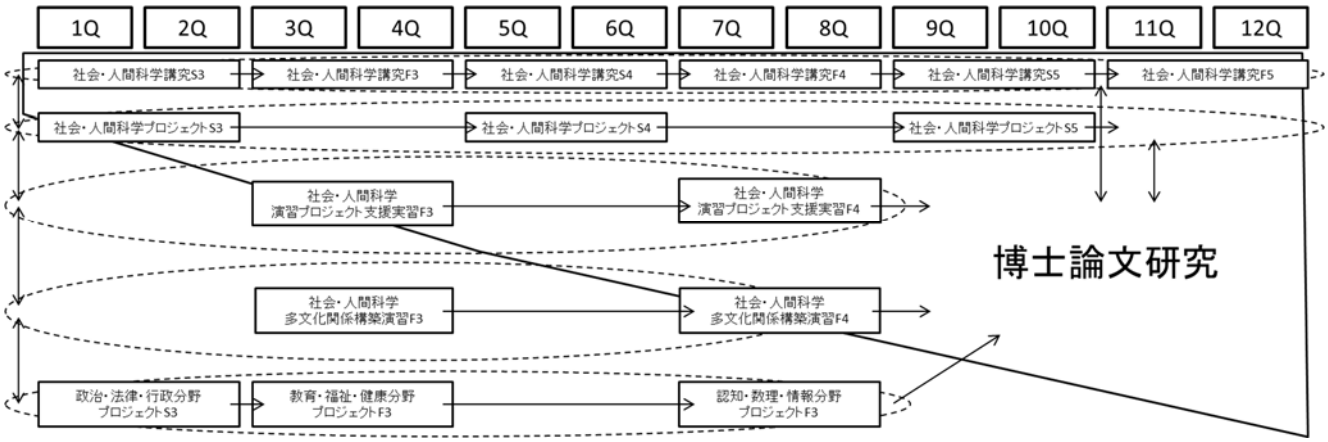
（例 1）認知・数理・情報分野の履修例。



（例 2）教育・福祉・健康分野の履修例。

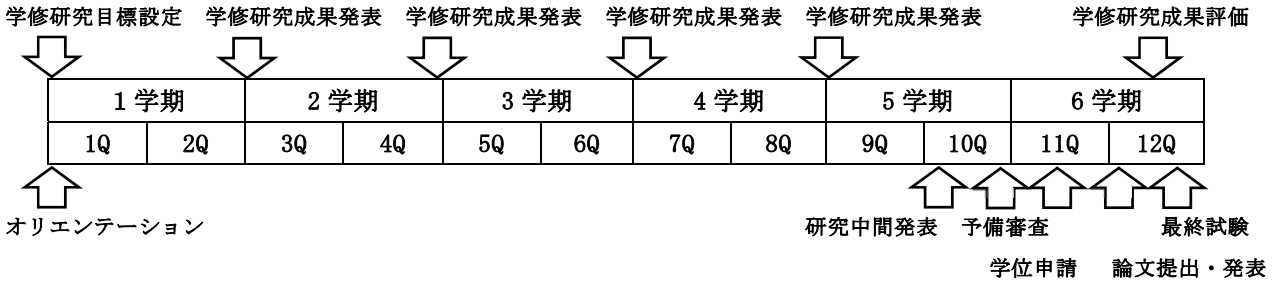


（例 3）政治・法律・行政分野の履修例。



博士論文研究

博士論文研究では，問題解決力に加えて，問題設定能力を培い，さらに英語によるコミュニケーション力の向上を目指す。これらは学修成果の設定と評価の過程で修得する。博士論文研究の流れを次の図で示す。



・学修研究目標設定・オリエンテーション

入学時に，学修研究目標設定と目標達成のためのオリエンテーションを行う。

・学修研究成果発表・学修研究成果評価

学修研究目標の達成度や目標達成のための課題を明確に意識できるよう，3Q，5Q，7Q，9Q に，スライドやポスターを用いた口頭発表により，学修研究成果発表を行う。また，12Q に学修研究成果評価を行う。

・研究構想発表・研究中間発表

研究の背景，目的，進捗等を明確に意識できるよう，3Q に「研究構想発表」を，5Q に「研究中間発表」を行う。発表要旨を提出し，スライドやポスターを用いた口頭発表を行う。

・予備審査・学位申請・論文提出・論文発表

学修研究目標設定，オリエンテーション，学修研究成果発表，研究構想発表・研究中間発表等の後，予備審査を経て，学位申請を行い，その後，論文提出，論文発表にいたる。論文発表ではスライドを用いた口頭発表を行う。

・博士論文審査基準

（内容）

・新規性，独創性と，十分な理学的，工学的，あるいは，学術的価値を持ち，分野の進展に寄与する世界的水準の研究であること。
・そのために，主要部分が学術論文誌等で公刊されているか，あるいは掲載が決定されていなければならない。

（論文）

博士論文は，以下について体系的に分かり易くまとめられていること。

・研究の背景
・研究の目的
・本論文の構成と本論文の概要
・各章の内容
・新たに得られた研究成果
・学問的・社会的な貢献
・結論と残された課題
・本論文に関する発表【論文，学会発表等について博士論文との関係性が分かるように記述する。】
・参考文献

・博士論文審査実施方法

審査委員会は 5 名以上の審査員で構成される。予備審査に合格した上で論文を提出し，口頭発表の後，審査

員による事前査読を経て，最終的な審査・評価を行う。最終試験では，当該分野の理解能力と外国語の能力を確認する。